

平成28年度 関金ラジュームデイサービスセンター 事業計画

事業所名	関金ラジュームデイサービスセンター		
施設長名	森貞 福恵		
実施事業	通所介護・介護予防通所介護		
開設年月日	平成20年12月1日		
所在地	倉吉市関金町関金宿259-1		
正規職員数	3名		
臨時職員数	11名		
パート職員	2名		
定員数等	25名	目標利用者数 21名/月	利用率 85%
職員配置	施設長 1 (生活相談員兼務) 調理員 3 看護師 2 生活相談員 1 介護職員 7 夜勤専門員 2		

1 基本方針

要介護状態等の心身の特性を踏まえて、そのご利用様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、さらにご利用様の社会的孤立感の解消および心身機能の維持、ならびにご利用様の身体的、精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の支援及びその他の必要な援助を行います。

2 運営

- (1) ご利用者様の思いを尊重し、介護計画に基づき介護・看護・機能訓練（介護予防）・グループワークのサービスの提供を致します。
- (2) 介護の提供にあたっては、職員自ら資質の向上、技能習得に努め、ご利用様が安心できる生活の場を提供します。
- (3) 地域社会と連携し、社会参加と交流を深め温かなサービスの提供に努めます。
- (4) 医療・福祉の各機関と連携を密にし、安心して施設での活動や生活が送れる様に支援します。
- (5) 月平均の目標を、職員一人一人が意識し、ご利用者様の利用と笑顔に繋がっていくよう協働していきます。

3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

施設敷地内看板の変更 300千円

(2) 事業活動

① 関金3施設合同地域交流祭

ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、関係機関との交流を目的に関金3施設が連携、協力し合同祭りを開催します。

② グループワーク

塗り絵、貼り絵、手芸、カレンダー作り、将棋、花づくりなどご利用者様の興味

あることに取り組んで頂きながら、また、他のご利用者様と協力しながら取り組んで頂けるよう支援し、心身機能の低下予防と他者交流に繋がる活動を実施します。

③ 元気、長生きいきいき体操

ご利用者様の身体機能の維持を目的に、自宅でも出来る体操メニューを作成し、身体を動かすことを習慣化できる様に支援します。

倉吉元気体操や脳トレ体操を行い、楽しみや目的をもって頂くことで残存機能維持につなげる活動をします。

④ 薬膳料理の活用 月2回

毎月テーマを決め、テーマに合った季節の食材を使いながら、栄養を考え目でも楽しんで頂けるよう工夫し薬膳料理を提供します。

⑤ 関金温泉の活用

関金ラジウム温泉を活用し、清潔を保つこと、心身共にリラックスして頂く事を目的に安全に入浴していただけるよう支援します。

その他に、歩行浴槽で歩行浴や運動が出来ることから、体調の変化に留意しながら機能訓練に繋げ維持向上に繋がります。

⑥ レクリエーション

毎月行う誕生会、おやつ作り、外食ツアー、上映、カラオケやゲーム、季節に合わせた花見外出(4月)、あやめ池外出(6月)、秋の遠足(10月)、紅葉外出(11月)等の外出行事、運動会、保育園交流、地域行事の参加などを行う事で楽しみや生きる励みに繋がる活動を行います。

⑦ 満足度調査 年1回

ご利用者様、ご家族様に対しアンケート調査を実施し、貴重なご意見等を頂きより良い支援を行ってまいります。

4 安全・衛生管理

- (1) ご利用者様の身体状況、健康状態を把握し看護師と連携を取りながら見守り、必要な介助を行い安心、安全に過ごしていただくよう努めます。
- (2) 安心して施設利用をして頂けるよう、ヒヤリハットなどの実践・改善による事故防止に努め、施設内の安全確保に配慮したサービスを提供します。
- (3) 安心して施設利用していただけるよう、設備・備品等の安全管理、点検を行い整理整頓に努め安全に十分配慮します。
- (4) 衛生管理・衛生教育を行い、感染症予防の周知徹底を図ります

5 防火・防災・救助体制

災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減に努めます。

- (1) 消火設備の定期点検を励行し、防火・防災の避難訓練を(年2回)実施し、防災意識の徹底と緊急連絡の実地訓練を行います。
- (2) 自然災害は市の防災マップを基に、避難場所・避難経路の把握、防災無線、鳥取県防災情報収集を取りながら、ご利用者様の安全を確保します。
- (3) 地域の防災組織と連携を取り、合同で訓練を行い、災害時・緊急時の避難体制の確認を行います。

6 職員の資質の向上と研修

(1) 外部研修・発表会の参加

介護予防ケアマネジメント・認知症研修・苦情受付担当者研修等に参加し自己を磨きご利用者様に対する意識、技術向上を図れるよう努力します。

県老協の事例発表会に参加します。

(2) 法人内部研修

高齢者部会、処遇接遇部会、研修内容に応じ職員が参加し、施設業務に生かしていきます。

(3) 施設内 OJT・職場研修の実施

職員会にてマニュアル研修を行い、スキルアップを図ります。又施設内外での研修で身に付いた知識・技術を報告し、今後の支援に生かせるよう努めます

(4) 職員の資格取得の為の取り組み

法人の「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップを促進します。

また、知識、実技の習得について既得職員等による支援など、施設全体で協力していきます。

7 各種団体との連携と地域交流

(1) 年6回お楽しみ会を計画し地域の保育園や、ボランティア団体との交流の場を設け交流を深めます。

(2) 関金3施設合同地域交流祭や地域の市民文化祭、つつじ祭り、御幸行列、芸能祭りなどの行事等に積極的に参加し、地域住民との交流を図ります。

(3) 活動内容を知って頂くために、年2回(7月・1月)広報紙を発行します。

8 年間行事等

別紙のとおり